



第 148 号

令和 8 年

7 月 17 日発行

蒼 雲

夢・現実・絵空事

校長 岡 秀 樹

視野を広げてみると、世の中には様々な職業があり、多くの選択肢があります。もし私のように進路に迷ったときは、自分が後悔しない選択は何かと考えてください。なんとなく選んで「あの時あっちにすればよかった」と大人になってから後悔するより、高校生の今このときに悩んで悩み抜いた方が、多様な視点から多角的に物事を見ることが出来ます。そして、悩み抜いて選んだものにこそ大きな価値があります。また、大人になったら責任が増えていき、今ほど純粹に夢を追うことは難しくなると思います。夢を追いかける「自由」と夢を叶えるための「時間」があるのは、間違いない「今」です。今のうちにできることを全力で、学業や部活に励んで頑張ってください。応援しています。

今春、看護系の学校に進学した卒業生の「合格体験記」からの引用です。最近「やはり夢って大事だよなあ」とつくづく実感することがあったのですが、そんな折にこの一節に出会い「これだ!」と思いました。これを読むとこの卒業生が「夢」の大切さや価値を明確に理解していることが分かります。短い一節の中で「夢」という言葉

が三度も出てきて、さらに「今」という時間の大切さについても言及しています。ほんの数カ月前まで同じ学び舎で過ごしていた先輩がここまでの境地に至るということは、進路活動はこれほどのインパクトを与える人生の一大イベントであることを示しています。

さて、手元の辞書を引いてみると、「夢」という言葉には次のような意味が載っています。

- ① 睡眠中に様々な物事をあたかも現実の経験であるかのように感じる心的現象。
- ② 将来実現させたいと思っている願い。
- ③ 現実から離れた空想。
- ④ はかないもの。また、たよりにならないもの。

最初に①④は除外するとして、②と③の意味がポイントとなりそうです。そもそも夢は現実の近くにはないから夢という形で見えているわけですが、その遠さをどう考え、どう行動に落とし込むか、ということが大きな分岐点になります。

途中で諦めてしまえば、「夢」は現実とはならず「絵空事」となってしまうかもしれません。しかし、諦めなければ、現実と夢の距離は

少しずつ縮めていくことができます。

進路や勉強という枠組みの中で話をしていると分かりにくいかもしれませんが、実はこのしくみは部活動もまったく同じです。たとえば、先日行われた県総体において、本校サッカー部はベスト4に入りました。勝利への強い思いがなければ決して成し遂げられなかった、まさに快挙であったと思います。この体験を通して、部員の皆さんは夢の大切さ、信じて努力することの意味を体感したのではないのでしょうか。

今年掲げた「三刀流」とは、こうしたしぐみに気付き、学習も部活動も同じメインドで取り組むこと・しっかりとつなぐことを推奨するものです。部活動で好成績を残したいのであれば、授業中の過ごし方・発想が今のままでいいのか、そこから見直す必要があります。

先日読んだ『10年後のハローワーク』（川村秀憲・著）には「夢をバカにすると路頭に迷う時代が来る」という見出しで、子ども時代の夢を否定せず、自己肯定感を持たせることがいかに重要かということが述べられています。

もちろん、高校生の段階になれば、現実を理解することも重要ですが、一方で夢の持つエネルギーの強さは過小評価すべきでないと思います。このことは冒頭で挙げた生徒の例が証明しています。

夢を現実のものとするのか、それとも絵空事で終わらせるのか、すべては今にかかっています。



新たな体育祭

生徒会長 黒田若佐

今年度、三刀屋高校の体育祭は9月から5月開催へと生まれ変わりました。選挙の公約にこの改革を掲げてから約8ヶ月間、葛藤を抱えながらも話し合いを重ね、5月12日の当日を迎えました。熱中症から生徒の命を守るための決断でしたが、これが三高にとって大きな挑戦であることも自覚していました。伝統ある「3日間連続の三高祭」を愛する声や、人生最後の体育祭の前に準備期間が短くなる3年生のことを思うと不安と心配ばかりでした。

しかし、準備が始まると、そこにあったのは全員で前を向く姿でした。生徒会と先生方が組んだ過密な日程の中、3年生は限られた時間で圧倒的な熱量の応援パフォーマンスや衣装を作り上げ、見事に本番に間に合わせてくれました。誰も経験したことのない5月開催。それを大成功へと導いたのは、他でもない「チーム三高」の底力です。この変革にこそよく協力してくれた全校生徒、そして先生方に、感謝の気持ちでいっぱい。本当にありがとうございました。



県総体

部活動名		日 程	会 場	結 果
前 期	陸上競技部	5/29(金) ～31(日)	浜山運動公園陸上競技場 (出雲)	女子走幅跳 山中4位 阿部6位 女子三段跳 山中3位 女子やり投 経種8位
	男子バスケットボール部	5/29(金) ～31(日)	県立体育館 (浜田)	1回戦 98－60 出雲商業 2回戦 54－65 出雲工業
	女子バスケットボール部	5/29(金) ～31(日)	益田市民体育館 (益田)	1回戦 48－72 松江南
	女子バレーボール部	5/29(金) ～31(日)	県立浜山体育館 (出雲)	1回戦 2－0 邇摩 2回戦 0－2 安来
	柔道部	5/29(金)・ 30(土)	県立石見武道館 (浜田)	【個人戦】2名出場 1回戦敗退
	サッカー部	5/29(金)・ 30(土)・ 6/ 3 (水)・ 4 (木)	1回戦 松江補助競技場 (松江) 2回戦 中海スポーツパーク (松江) 3回戦～ 県立サッカー場 (益田)	1回戦 PK勝 2－2 浜田・浜田商業 2回戦 2－0 松江工業 準々決勝 2－1 出雲工業 準決勝 0－5 開星
後 期	男子ソフトテニス部	6/ 4 (木) ～6 (土)	松江総合運動公園 市営庭球場 (松江)	【団体戦】1－2 津和野 【個人戦】3回戦敗退1組・2回戦敗退2組・1回戦敗退8組
	女子ソフトテニス部	6/ 4 (木) ～6 (土)	松江総合運動公園 市営庭球場 (松江)	【団体戦】1回戦 1－2 出雲 【個人戦】和田・坂田ペア ベスト32 (中国大会出場権獲得)
	男子ソフトボール部	6/ 6 (土)	浜山公園 (出雲)	決勝 4－5 安来 準優勝
	女子ソフトボール部	6/ 5 (金)・ 6 (土)	浜山公園 (出雲)	準決勝 5－4 大東・出雲・出雲商業 決勝 7－0 浜田商業 優勝 (インターハイ出場権獲得)
	卓球部	6/ 4 (木) ～6 (土)	出雲市総合体育館 (出雲)	【個人戦】2名出場 1回戦敗退
	剣道部	6/ 5 (金)・ 6 (土)	益田市民体育館 (益田)	【団体戦】男子 1回戦 1－1 大田 代表戦負け 女子 予選リーグ (松江東・横田) 1位通過 女子 トーナメント1回戦 3－0 松江南 準決勝 1－2 出雲商業 3位 【個人戦】女子 ベスト8白築 ベスト32勝部・足田

県総体結果
男女総合
Aグループ
19位

県総体結果

男女総合
Aグループ
19位



芸術鑑賞



6月10日（水）に三刀屋文化体育館アスバルにて掛合分校、出雲養護学校雲南分教室と合同で芸術鑑賞を行いました。

「東京演劇集団風」の皆さんをお迎えし、バリアフリー演劇「ヘレン・ケラー」〜ひびき合うものたち〜を鑑賞しました。

生徒たちは、目の前のステージで繰り広げられる物語に夢中になっていました。

開演の前後には舞台裏見学・座談会が行われ、普段触ることのできない舞台のセツトに触れたり、役者さんのお話に耳を傾けたりしていました。

鑑賞した生徒の感想（一部抜粋）

光も音もない世界で暴れるヘレンと、彼女をあきらめずに体当たりでぶつかるとサリバン先生の姿に胸が熱くなります。井戸の水に触れて、手のひらの文字が「水」だと気づく瞬間は、何度観ても鳥肌が立つほどすごかったです。この劇を観て、私たちがふだん当たり前に話している言葉の大切さや、人と気持ちが伝わり合うことの嬉しさを、あらためて深く考えさせられました。

芸術鑑賞会では、これからの生き方に大きな変化をもたらしたと思います。わたしが心に残ったのは真っ黒な世界でも、必死に生きようともがいたヘレンの姿です。目も見えず、耳も聞こえなかったら、これからの未来が真っ暗だと思ってしまう気力をなくしてもおかしくないのに、必死に生きようとしているヘレンが素晴らしいと思えました。また、サリバン先生はしつこいくらいヘレンと心を通わせようとしていて、その姿に、わたしもうまくいかなことがあってもめげずに人と関わっていききたいと思うことができました。

私は観劇とその後の見学と座談会に参加しました。私は初めてバリアフリーの舞台を見て、自分の中では新しいものを見ているはずなのに、通訳さんが舞台上にいてもなんの違和感もなくそれどころかも物語にいてる方として見てる感じが私の固定観念を崩してくれました。今まで演劇にバリアフリー演劇があることを知らなくて今回知ることができてよかったと思います。みんな同じ人間なんだってことは当たり前だけど当たり前になっっているのかということを考えさせられました。

球技大会



球技大会の結果

バレーボール	男子：	1位	3年1組	
		2位	2年4組	
		3位	3年4組、1年2組	
	女子：	1位	2年2組	
		2位	3年3組	
		3位	3年2組、1年1組	
卓球	男子：	1位	2年2組	
		2位	3年1組	
		3位	3年3組、1年1組	
	女子：	1位	3年1組	
		2位	1年4組	
		3位	3年4組、2年2組	

7月2日（木）、三刀屋文化体育館アスバルにて1学期球技大会を行いました。

各クラス、男女ともに卓球とバレーボールにそれぞれ分かれ、汗を流しました。

クラスメイトを声がかれるくらい応援する姿も見られ、クラスの団結力がぐんと増した良い球技大会になりました。